

吉見書店☆其之

底辺から見た日本の廻所の展望

とくしゃのこえ

(2) 3月8日(土)

3月8日(土)

とくしゃのこえ

◇ 錦ヶ崎は人生
行路の停車駅で
あり終着駅に
通天閣に灯下焼る
と、その面下の下や
街差ヶ崎にも灯がと
も。日本全国から
やつて来て、ここに
住みついた人間はど
こに出稼していても、
並と正月には見覚え
のある一万何千個の
軒が帰つて来る。大
部分の人間にとつて
は、並ヶ崎は人生行
ていて非常に結構で
す。
それから、誰でも
が承知の通り、並ヶ
崎では女性の比率が
非常に低く、せんざ
アスチヤンでもここ
では大モテ。だから
赤い味付けも居座で
すが、多色セメント
の味付けも悪くない
でしょうねえ。どこ
のドマのゴミ箱の中
モエロ味たつありな
粒詰、週刊誌の古い
ので一杯ですよ。つまり一重巻しがつて
いるものを通じて言
ふる限り上手で行く
方えは少しずるいか

◇ 錦ヶ崎は人生
行路の停車駅で
あり終着駅に
通天閣に灯下焼る
と、その面下の下や
街差ヶ崎にも灯がと
も。日本全国から
やつて来て、ここに
住みついた人間はど
こに出稼していても、
並と正月には見覚え
のある一万何千個の
軒が帰つて来る。大
部分の人間にとつて
は、並ヶ崎は人生行
ていて非常に結構で
す。
「并ヶ崎者渡世」の
創刊号が既しくて「
生協」に行つたけど
だから初号は
和うばい十九回も二
も知れませんけど。
そうなるとヤンブル
ルの画も不可欠と云
う事になりかねない。
並ヶ崎では他の凡ゆ
る社会を圧してヤヤ
ンブル画ではせ々し
い三色公園を併らん
なさい。競馬、競輪、
ホート、四五一年
です。

色気ヤバナーハの記録も

高原公平

◇ ツンボ様敷に
押し込みられて
いる日本民族 ◇
日本と云う国の首
相が、国会議員と云
う官職を利用して、
せつせと金脈を握つ
ていても、国民には
真相は知られない。ま
た新聞社が絡んだ「
外務省特密漏洩事件

萩之茶園三

とくしゃのこえ

(2) 3月8日(土)

3月8日(土)

とくしゃのこえ

◇ 錦ヶ崎は人生
行路の停車駅で
あり終着駅に
通天閣に灯下焼る
と、その面下の下や
街差ヶ崎にも灯がと
も。日本全国から
やつて来て、ここに
住みついた人間はど
こに出稼していても、
並と正月には見覚え
のある一万何千個の
軒が帰つて来る。大
部分の人間にとつて
は、並ヶ崎は人生行
ていて非常に結構で
す。
それから、誰でも
が承知の通り、並ヶ
崎では女性の比率が
非常に低く、せんざ
アスチヤンでもここ
では大モテ。だから
赤い味付けも居座で
すが、多色セメント
の味付けも悪くない
でしょうねえ。どこ
のドマのゴミ箱の中
モエロ味たつありな
粒詰、週刊誌の古い
ので一杯ですよ。つまり一重巻しがつて
いるものを通じて言
ふる限り上手で行く
方えは少しずるいか

◇ 錦ヶ崎は人生
行路の停車駅で
あり終着駅に
通天閣に灯下焼る
と、その面下の下や
街差ヶ崎にも灯がと
も。日本全国から
やつて来て、ここに
住みついた人間はど
こに出稼していても、
並と正月には見覚え
のある一万何千個の
軒が帰つて来る。大
部分の人間にとつて
は、並ヶ崎は人生行
ていて非常に結構で
す。
「并ヶ崎者渡世」の
創刊号が既しくて「
生協」に行つたけど
だから初号は
和うばい十九回も二
も知れませんけど。
そうなるとヤンブル
ルの画も不可欠と云
う事になりかねない。
並ヶ崎では他の凡ゆ
る社会を圧してヤヤ
ンブル画ではせ々し
い三色公園を併らん
なさい。競馬、競輪、
ホート、四五一年
です。

謡みたじが

前略
創刊号行「新務者
本のクラに全編堂
や田ほか六ヶ所の場
所を譲りました。一
さつ一〇〇円。遠方で
一隻あるいは四十七
隻あります。(係)

投稿歓迎! 歓迎! 大歓迎! 《送り先》(郵便番号557-91) 西成局私書箱第31号 『労務者渡世』編集委員会 (採否は当方で決定)

西成夢情

伴句 テント村二題

アンコ橋口店の花
明日は散るかも知れないが、
せめて今よいはゆつちりと
便ヒ貴女の橋の花を

セリ一杯に味かそうね
さしつされつ

ほろようまことに 口里詠みしめ……

ああ!! ませか

ラ夜の詠みはとてもすてきだ。

ほんのりとした君の赤いほっぺ、
なんとなくうるんだその両眼、

仕事のあいまにゆれ勤く

ほゝそりしたえりあしよりの二日

白いうなじ

「ああ、俺はとてもたまらない」

今日の疲れもいつのまにか

ぱーと消えて行ってしまったみたいだ。

でも、そのたび一つ 今想しい事は、

このすさんだ

個人主義的な、マイホール王導の中

人と人とも思わず互いに虚勢を張つて

おる様なる世においても

おのが中にて、ドヤひたすらに、常に

マイペースで、人情厚く

世の前見にとらわれず

ひしひ、おのが身をかみしめ、ひたむきな

僕はこのひびを思う時

ふと、ほうよい羊はにして

何かしうるの底よりレーンとこみ

あけるものを感じ

つい目水しらかあつくなるのである。

店の片スミでは ラ夜も

ジュークの演歌が 私の心を

よりいづもうおどらせるのであつた。



—— 花見会

3月8日(土)

とくしゃのこえ

(4) 3月8日(土)

とくしゃのこえ

(3)

アンコ橋口店の花
明日は散るかも知れないが、
せめて今よいはゆつちりと
便ヒ貴女の橋の花を

セリ一杯に味かそうね
さしつされつ

ほろようまことに 口里詠みしめ……

ああ!! ませか

ラ夜の詠みはとてもすてきだ。

ほんのりとした君の赤いほっぺ、
なんとなくうるんだその両眼、

仕事のあいまにゆれ勤く

ほゝそりしたえりあしよりの二日

白いうなじ

「ああ、俺はとてもたまらない」

今日の疲れもいつのまにか

ぱーと消えて行ってしまったみたいだ。

でも、そのたび一つ 今想しい事は、

このすさんだ

個人主義的な、マイホール王導の中

人と人とも思わず互いに虚勢を張つて

おる様なる世においても

おのが中にて、ドヤひたすらに、常に

マイペースで、人情厚く

世の前見にとらわれず

ひしひ、おのが身をかみしめ、ひたむきな

僕はこのひびを思う時

ふと、ほうよい羊はにして

何かしうるの底よりレーンとこみ

あけるものを感じ

つい目水しらかあつくなるのである。

店の片スミでは ラ夜も

ジュークの演歌が 私の心を

よりいづもうおどらせるのであつた。

。 投稿は毎月20日しめ切り

。 来月もテーマは

。 この冬をどうシノイにいか

。 それ以外でもかまいません。

投稿歓迎! 欢迎! 大歓迎!

《送り先》(郵便番号557-91) 西成郵局私書箱第31号 『労務者渡世』編集委員会 (採否は当方で決定)

